

令和4年度 日向市立日向中学校ビジョン実現のための重点目標と数値目標に関する評価

4段階評価 4：たいへん良い 3：良い 2：やや悪い 1：改善の必要がある

番号	重点目標	ビジョン実現のための重点目標と目標達成のための手段	数値目標	自己評価	評価の説明と今後の対策	学校運営協議会		
						意見等評価		
1	自主的な学びの推進	●学び合い・振り返り、ICTの活用を手段とした「わかる・できる」授業の展開	学習におけるICTの有用性に肯定的な生徒を9割以上にする。また、授業で「わかった・できた」と実感している生徒を昨年度(91%)以上にする。	3	3	<p>○ICTの有用性については、ほぼ100%の生徒が肯定的に捉えている。授業で「わかった・できた」と感じていると回答した生徒は89%であった。次年度も、ICTの活用について実践を深めながら、相互の授業参観等とおして授業改善に努め、生徒が「わかった・できた」と実感できる授業の構築を行っていく。</p> <p>○「家庭学習に積極的に取り組み学力を付けている」と回答した生徒が72%となりR2の水準まで減少した。保護者の肯定的回答は58%と微増であった。教科や学年において、生徒の実態に応じた家庭学習のあり方について検討が必要である。</p> <p>○SDGsについては3年生が総合的な学習の時間で学んだほか、昨年度に続き緑風祭で講演会を行い全校生徒の課題意識を高めた。「働くことに関心をもち、将来の夢や職業を思い描いている」と回答した生徒は、前年度-8ポイントで74%であった。職場体験学習の実施時期等を検討し、引き続き将来を考え続ける生徒の育成を目指して、キャリア教育を行っていく。</p> <p>○課題を解決していく生徒会が理想の姿として全校に浸透し、全体的に生徒会活動への意識が高まっている。「生徒会活動に積極的」と回答した生徒は94%、保護者は83%とどちらも増加した。今後も生徒の主体性を伸ばしていく。</p>	4	<p>●ICT公開授業を見て生徒が主体的に授業に参加していると感じた。学校全体で組織的に取り組んでいるのが素晴らしい。個々の特性が生かされ意見が反映できたことは高く評価。総合的な学習の時間との相乗効果で広い視野での体験ができ、自信にもつながった。</p> <p>●日頃の習慣が必要で保護者の協力が一番では、視点をどこに置いているかで生徒・保護者・職員で差があると思う。</p> <p>●職場体験学習や企業の説明会などを将来の目安にしてほしい。</p> <p>●他校の保護者からも日向中の生徒会活動の評価は高く、生徒総会はとても充実していたと子どもの声も聞いた。自分達の意見が発言できる場所があることが自分自身の成長につながる。</p>
		●学習の意義の理解、家庭への啓発と連携とおした家庭学習の充実	家庭でのタブレットの活用等呼びかけ、学家庭学習の充実度について肯定的な回答を生徒・保護者とも8割以上にする。	3				
		●地域や世界の課題把握と探究的な学習とおしたキャリア教育の充実	SDGsの観点から地域や世界の課題把握と探究的な学習を展開し、自分自身に何ができるかを考えさせ、将来の夢や目標を思い描く生徒を9割以上にする。	2				
		●生徒自らが課題解決を図る主体的な生徒会活動の推進	生徒が課題に気づき、解決に向け行動するよう支援し、生徒会活動をさらに活性化させ、生徒の主体的活動に関する肯定的回答を9割以上にする。	4				
2	協同的な人間関係の構築	●いじめ・不登校生徒をなくす魅力ある学校づくり(居場所づくり、絆づくり)の推進	関係機関との連携等とおして、全生徒・保護者の居場所づくり、絆づくりを継続し、いじめや差別を許さない立場で行動できる生徒を100%にする。	3	3	<p>○不登校生徒数は微増の状況であるが、関係機関と連携し対応を継続している。学校行事や生徒会活動により生徒の絆が育まれており、「いじめや差別を許さない」と回答した生徒は97%であった。今後も生徒の回答が100%になるよう、効果のある取組を継続し、根気強く「いじめや差別を許さない」学校づくりに取り組んでいく。</p> <p>○学年ごとに全職員で実施する道徳の授業が定着した。「道徳的な力を身につけようとしている」と回答した生徒の割合は昨年同様だが、保護者の割合は93%に増加した。次年度もこの授業体制を継続していく。</p> <p>○行事等とおして自他の肯定感の高まりが見られる。また生徒会による掲示物の工夫や学期1回の人権学習を実施した。「みんなと何かすることが楽しいと感じる」と回答した生徒は93%であった。</p>	3	<p>●いじめや不登校には未然防止が必要で効果的。そのための学級編成や居場所・絆づくりに積極的に取り組んで欲しい。</p> <p>いじめや差別をやっている生徒は、それに気付いていない。制服の改正などとおして、生徒の方が柔軟な思考を持っていると感じる。「多様性」を受け入れられてないのは保護者も。子どもから保護者の思考の変化につながるように思う。</p> <p>●道徳を学び身に付けることは将来の”生きやすさ”につながる。「自分を律する」ことができることがいろいろな場面で救ってくれる。とても重要な授業である。全員で取り組む姿勢であるということは生徒にとってありがたいことだと思う。</p> <p>●共同作業による達成感は大事。</p>
		●個々の変容を促す組織的な道徳教育の実践	全職員で実施する道徳の授業を定着させ、一人一人の変容を多くの目でとらえ評価し、道徳的な力を身につけようとする生徒を9割以上にする。	3				
		●互いのよさを認め合い、尊重し合う人権教育や特別支援教育の充実	行事や体験活動とおして、互いの良さを発見させると同時に、生徒会活動と連動した人権教育を行う。みんなと何かすることが楽しいと感じる生徒を9割以上にする。	3				
3	健康的な心身の育成	●自他の命を大切にするための安全教育や防災教育の充実	学校以外で地震や津波が起こった場合の避難場所を家族で話し合わせ、生活の記録に全員記載させる。登下校時の交通ルールやマナーを守る生徒を9割以上にする。	3	3	<p>○生徒に学校外の避難場所を書かせることはできた。保護者向けの調査では「話し合いが十分でない」との回答が8%と微減した。登下校時の交通ルールやマナーを守ると回答した生徒は98%であったが、生徒の意識と実際の運転マナーには乖離があると考えられる。引き続き、避難訓練・交通安全指導を充実させていく必要がある。</p> <p>○メディアコントロール週間を定期テストに合わせて、校区内小学校と連携して実施した。しかしルールを決めている生徒は75%から70%に減少し、保護者の回答は71%であった。今後は生徒会がメディア利用のルールを定めた「日向メディア法」等を活用し、取組を継続していく。</p> <p>○適度な運動、バランスよい食事については、89%の生徒が肯定的な回答であった。引き続き、健康管理の指導や食育の授業等を行っていく。</p> <p>○社会的にもコロナ感染防止対策への理解・実践が進み、今年度は学級・学年閉鎖をすることなく学校運営を継続できている。従来の学校教育活動の実施がある程度可能となってきた。次年度も国の指針、感染状況を見ながら、都度適切な対応を行い、教育活動を行っていく。</p>	3	<p>●地域の方と実施した災害避難訓練を高く評価する。生命を守る行動は何よりも重要なこと。保護者と相互理解ができていくことがすばらしい。</p> <p>自転車通学については定期的な指導は必要だと思う。</p> <p>●ルールを生徒自身が定めて取り組む、とてもよいと思う。大人もコントロールできない現状で、子どもから大人へ提案する形になっていくのではないかと。</p> <p>家庭でのルール作りをより徹底する必要があるのでは。ルールを作ることで親子でメディアに対する意識を再確認し、規則正しい生活を送ってほしい。</p> <p>家庭での取組がメインになると思うので難しいが、コントロール習慣を設けて促すことはさすがだと思う。</p> <p>●朝食をちゃんととっているかが大事。</p> <p>●各行事もスムーズに開催できて評価する。コロナで生徒達の思い出ができただろうか。</p>
		●メディアコントロールとともに健康を大切に、体力向上を図る保健指導・食育指導の充実	校区内の小学校と連携したメディアコントロール週間を実施する。インターネットやスマホを使う場合のルールを決めている生徒を8割以上にする。	2				
		●規則正しい生活の確立と環境教育の充実	適度な運動、バランスのとれた食事が実践できる生徒の割合を9割以上にする。	3				
		●感染症対策の徹底と自覚ある行動の推進	換気・手洗い・消毒など感染予防の基本的ルールを継続して徹底させるとともに、感染状況に応じて、柔軟な授業・行事等の計画変更を行うことで、豊かな学びを保証する。	3				
4	家庭・地域との連携	●楽しさと充実感を感じさせる日向中学校区コミュニティスクール作りの実践	地域の代表である学校運営協議会において、生徒との意見交換の場を設け、ともに学校の課題を共有し、解決できるように進める。	3	4	<p>○学校運営協議会において、生徒会が昨年度課題解決に向け宣言した内容についての取組みをまとめてプレゼンし、委員からのアドバイスを得た。</p> <p>○感染対策を行いながら保護者の参観の機会を積極的に設け、生徒の活動の様子を見てもらうことができた。通信類は、定期的に発行しており、特に学級通信については、ほとんどの学級で毎週の発行がなされた。HPのアクセス数は1年間で255000件増加した。</p> <p>○総合的な学習の時間を再構築し、全学年でふるさと日向市を学ぶ機会を充実させた。個別な支援が必要な生徒については適宜ケース会を設け、個別の対応を行った事例もあったが、今後も継続的な関わりが必要である。</p>	3	<p>●生徒会活動についてのプレゼンはとても素晴らしく、その後の意見交換も充実した内容だった。</p> <p>●参観週間により、時間の調整をしながら参観できて満足だった。学級懇談がない中で、学級通信での情報が頼りだった。担任だけでなく副担任の先生の通信もあってよいかと感じた。生徒指導通信はとても満足でき高く評価する。学校だよりやHPの更新等、努力や工夫を感じた。地域での活動も、コロナのため縮小ムードでなかなか参加できない状態だった、これから少しずつよくなると思う。</p>
		●家庭・地域への情報発信の充実と開かれた学校づくりの推進	行事や総合的な学習の時間の発表等を公開し保護者の参観を促す。学校通信、学年通信、学級通信、生徒指導通信、保健便り、図書館だよりを定期的に発行し、HPを更新する。	3				
		●総合的な学習の時間の再構築と地域や関係機関との連携・協働による教育活動の充実	市教育委員会、子ども課、児童相談所等との連携を密にし、個別の案件についてのケース会等を随時設け連絡を取り合い、よりよい問題解決につなげていく。	4				

